

せいか 議会だより

2019年11月1日発行

9月会議

No.166



裏面に撮影者
“ひとこと”



認定するが、財源活用の自由度が低く課題だ 2~3ページ

来年度の予算編成にもの申す 4~5ページ

議会「重大事件等対策特別委員会」設置 8ページ

議会をもっと知ってほしい 9ページ

令和元年度
定例会
9月会議

平成30年度一般会計決算 認定するが、財源活用



【質問】特別養護老人ホーム 神の園の待機者は何人か。
【答】待機者は156人。

【質問】介護保険事業

【質問】特別会計

【質問】元年度補正

【答】今、中学校給食を進めている。財源の問題で、優先課題であるトイレ改修の後となる。

【全員賛成認定】

【全員賛成認定】

【全員賛成認定】

【問】電車通学の中学生の交通費補助は、実費の2分の1であるが、全額補助にならない理由は。

【答】満額補助には財源が不足。2分の1補助は継続したい。

【問】国の補助制度を活用すれば、1校あたり6000万円のところ7000万円程度ができる。補助制度を使って設置しないのか。

【30年度決算】

【一般会計】

【答】満額補助には財源が不足。2分の1補助は継続したい。

【体育館エアコン設置】



(総合窓口課より)

【質問】7事業経費 明書発行機が耐用年数 桜ヶ丘・泊田の証

【質問】概要

【質問】一般会計

【質問】元年度補正

【答】超過のため、マイナンバー専用証明書交付機を導入するが、マイナンバーは普及しておらず、役場までわざわざ行くのは大変だ。住民の利便性確保は、コンビニでもマイナンバーカードで交付できる。

【答】今、交換機は維持困難で、今までの発行機の製造も無くなる。コンビニでもマイナンバーカードで交付でき

の自由度が低く課題だ!

一般会計決算の特徴

平成30年度一般会計決算の収支状況

	平成30年度	平成29年度
歳 入	136億9654万円	143億3891万円
歳 出	134億1922万円	138億4499万円
歳入歳出差引額(a)	2億7732万円	4億9392万円
翌年度繰越財源(b)	6706万円	4億4430万円
実質収支(c)	2億1026万円	4962万円
単年度収支(d)	1億6064万円	△123万円
積立金(e)	18万円	42万円
繰上償還	—	—
財政調整基金取崩額(f)	—	3億1055万円
実質単年度収支	1億6082万円	△3億51136万円
経常収支比率	98.9%	98.1%

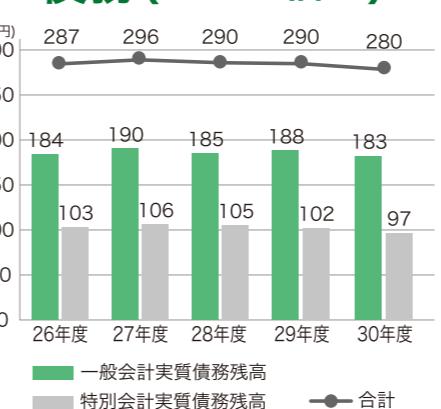
★29年度と比べると、歳入は6億4237万円(4.5%)減少し、歳出も4億2577万円(3.1%)減少している。小学校空調設備事業による増加はあったが、新クリーンセンター建設負担事業が完了したことにより減少した。

★実質収支((a)-(b))は2億1026万円の黒字となっており、単年度収支(30年度(c)-29年度(c))は1億6064万円の黒字となった。

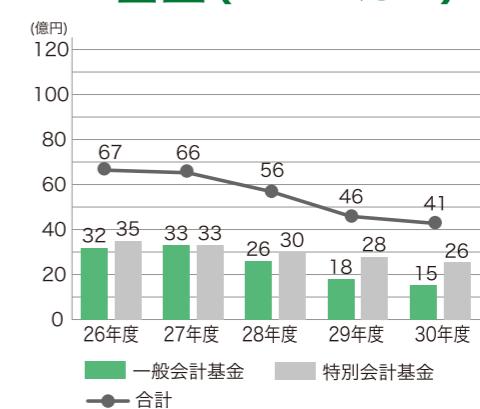
★財政調整基金からの取り崩しではなく、実質単年度収支((d)+(e)-(f))は1億6082万円の黒字となった。

★経常収支比率は98.9%と非常に高く、財源を活用できる自由度が低い。
(まちの家計簿より)

債務(まちの借金)



基金(まちの貯金)



本会議

概要

9月会議は、9月5日から30日までの26日間開催しました。町長提出議案は、18件で、慎重審議の結果、すべて原案通り同意、可決、認定しました。

また、議員提案の意見書2件の内1件を可決しました。

住民の命と財産を守り、
住民サービスの向上を
目指し意見しました！

来年度の 予算編成にももの申す

各事業に対する決算審議後、委員全員で討議し確認作業を行いました。
そして、来年度の予算編成に反映されるよう、9月会議最終日（30日）に
委員長報告し、後日町長に提出しました。

30年度決算委員会の意見 (抜粋)

①職員研修については、継続的・計画的に実施し、更なる職員の資質向上を図られたい。

問 職員として必要な基礎能力の習得や専門知識の涵養とは何を研修するのか。

答 専門的な技能や知識を習得し、職務に必要な法令を学ぶことであり、コンプライアンス順守、業務上の課題解決能力やコミュニケーション能力向上である。



かしのき苑内の学童保育

(子育て支援課より)

②中学校通学費補助額については、現状を十分に勘案して検討されたい。

問 通学費補助をもう少し上積みできないのか。

答 上積みするには財源が必要であり、検討していく。

③学校施設のトイレ改修については、現場の声を十分に反映して優先的に改善されたい。

問 慣れない和式トイレで、一年生が一番困っているが認識は。

答 低学年では、トイレを我慢しているなどることは聞いている。施設改修できないか考えている。



(学校教育課より)

④放課後児童クラブの教室は、子どもの安全・安心と利便性の観点から、設置場所を検討されたい。

問 かしのき苑の工事中は、放課後児童クラブをどうするのか。

答 すべての部屋が使えなくなるわけでないで継続できる。

問 精華台小学校からかしのき苑まで距離がある。せいかだい保育所の空き教室があれば活用できるのではないか。

答 せいかだい保育所も定員がいっぱいであり活用は難しい。保育所に近い民間施設も考えているがそれも難しい。

⑤母子保健や健康づくりの拠点として、健康総合拠点施設整備の財源確保に努められたい。

問 現保健センターは、不備を承知で使用しているが、施設移転も考えての健康総合拠点設備の構想は出来たのか。

答 保健センター、子育てセンターを一体化した構想で、これから決めていく。



(都市整備課より)

⑥企業の流出防止や新たな産業創出の観点から、一層の雇用確保や交通アクセスの充実を図られたい。

問 立地企業から町への要望は何があるのか。ベンチャー起業独立支援は。

答 企業からは、雇用や通勤改善が求められている。町は企業流失防止や新たな産業創出を求めている。ベンチャー独立支援は3年程度の補助と企業経営の支援をしている。



行き止まりの山手幹線

⑦山手幹線南進の早期の実現に向けて積極的な支援に努めること。

問 菅井西、植田南事業計画案の作成はどのようになっているのか。

答 素案の最終部分を詰めている。地権者の同意目標は9割としているが、達していない。

⑧長時間停電による新たな課題の防災対策を含めた、地域防災計画の見直しを図られたい。

問 千葉県のように停電が長くなった場合の対応はどうするのか。

答 防災情報のための72時間発電は可能である。関電との情報ホットラインを設けた。電源確保は千葉の実情も考えて見直していく。

来年度予算編成に向けて「事務事業評価」を行いました。

予算決算常任委員会では、7事業を選抜し、事務事業評価シート（議会だより153号に掲載）を用いて討議・評価しました。

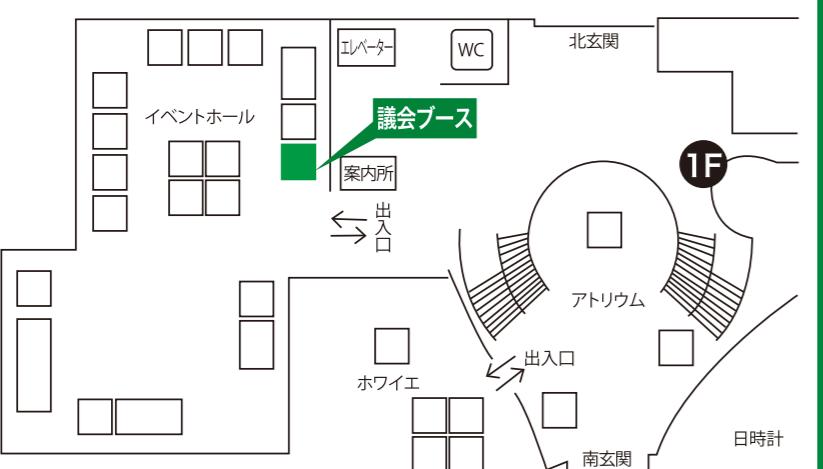
6月から事業の選定作業を行い、9月会議で討議・評価し、会議後まとめ作業を行いました。そして委員会の意見として、11月1日に町長に提出します。詳しくは次号（167号）に掲載します。



飛びだせ！議会inせいか祭り

11/17(日) けいはんなプラザ内
10:00~15:00

アンケートの実施と、
議会のしくみなどのパネル展示



議会をもっと知つてほしい!!

お知らせ

■次回、令和元年度定例会12月会議は、
12月5日(木)からはじまります。

12月会議に請願・陳情・要望書の提出をされる
方は11月27日(水)午後5時までに、精華町議会
事務局(町役場6階)へ提出してください。

あなたも議会を傍聴しませんか

インターネット中継もご覧ください。

日程については、議会事務局へお問い合わせください。TEL: 95-1908 FAX: 95-3972
<メールアドレス> gikai@town.seika.lg.jp



議会だより・会議録が「精華町議会」ホームページより検索できます。
<http://www.town.seika.kyoto.jp/gikai/>

●目の不自由な方のため、朗読ボランティア「ひびき」の皆さんのが本誌を朗読したテープを
精華町社会福祉協議会事務局(TEL.94-4573)と町立図書館で貸し出しています。

議会 「重大事件等対策特別委員会」設置



6回の議論を重ねる

「重大事件等対策特別委員会」中間報告

町議会は、この度の町職員の逮捕を重く受け止め、4月11日、全議員による『重大事件等対策特別委員会』を設置しました。

設置目的は、「重大事件の事実確認」「再発防止に向けた対応策」「議会のチェック機能の検証」の3つです。

町長から諮問を受けた弁護士など外部の専門家らで構成される「精華町重大事件等調査委員会」からの最終報告書を基に、まず、「重大事件の事実確認」を行うため、度々行政にも出席を求め、これまで6回の討議を重ね、全議員が認識を共有してきました。

今後は、「再発防止に向けた対応策」の議論を深めるために、「入札制度の見直しチーム」「職員倫理の向上チーム」の小委員会に分け、議会としての意見をまとめていきます。

町民の信頼回復に向けて、議会も全力で取り組んでいきます。

